

平成25年4月14日執行
富山市長選挙

選挙公報

富山市選挙管理委員会



まつなが さだお
松永定夫

昭和二十四年福中町笹倉生まれ。大沢野工業高校卒。S.M.K.(株)を経て(株)富山技研に勤務。県警と裁判で争い高裁で勝訴。五四歳で退職後、オリーブズマン運動など社会の不正と戦う運動に参加。県議・市議の選挙公費水増しなどを指摘し返還させる。水見えん罪事件、群馬県警裏金告発問題などを支援。

がれき焼却を中止する!

岩手・宮城では震災がれきのうち、木質や可燃物は広域処理するほどの量はすでになく、なら復興のさまたげになっていない。それでも受け入れようというのは、被災地の復興に用いられるべき予算を特別交付金などのかたちで横取りしようとするものであり、許されない。
市民が心配する放射能や化学物質の汚染についても十分な説明をすることなく、山本処分場入り口で説明を求める住民たちを刑事告訴するなど行政のやり方としては常軌を逸している。

市役所の主は市民である。

市長と議員の報酬を半減

浮いたお金で第二議会市民100人委員会を組織し、議会に競争原理を導入。

市職員給与の全面公開

公務員の給与を支払っているのは市長でなく市民である。平均値でなく、すべて明らかにすべき。

コンパクトシティ
中心市街地への集中投資
政策の転換

中心地栄えて周辺減る。周辺が減るといっても中心もまた衰退するのは歴史の道理。

住民至上主義による富山市改造計画

一人ひとりを大切にする市政へ。 暮らしを良くし、営業を守る。



無所属 市民の会 日本共産党いせん
吉田おさむ
(62歳)

市民の会・代表委員。富山の医療と福祉と年金をよくする会・事務局長。会社役員。妻・一男一女・母。富山市山本(池多地区)在住。

●医療費、中3まで窓口無料。
子育て世代を支援——〇市の責任で「学童保育」の拡充。〇返済の必要のない奨学金制度の創設。〇学童の通学路の安全確保。〇小中学校にクーラーを設置。

●高すぎる国保料を引き下げる。

●住宅リフォーム助成制度の創設。
地域産業を応援——〇市の発注は地元の中小業者を優先。〇地域産業に、「仕事と雇用、資金」をつくる。

●地域特性を生かしたまちづくり推進。
〇上婦負を含めた市全体バランスと地域特性を生かしたまちづくり。

●中心市街地にかたよった税金の使い方を改める。
〇医療・介護、福祉、教育の拡充、防災対策を強める。

●「開かれた市長室」を1階に。
市政運営——「対話と合意」をモットーに。

●1期二五八〇万円の市長退職金は返上。市民のための予算に回す。

●TPP・消費増税ストップ。
志賀原発の再稼働は反対。
憲法を市政に生かします。



もり まさし
森雅志
(六十才)

「略歴」
昭和27年8月13日、富山市生まれ。富山中部高校・中央大学法学部卒。昭和52年、司法書士・行政書士事務所を開設。平成7年、富山県議会議員に当選。平成14年、富山市長に当選。平成17年、新富山市長に当選。平成21年再選。

まちのチカラ

暮らしを支える都市・生活基盤が充実したまちづくり
新しい時代にふさわしい元気なまちづくり
人にやさしく、快適で安全・安心なまちづくり

人のチカラ

高い道徳心と創造性あふれる人づくり
健康で、自立し、いきいきとした人づくり
とやまを支え、発信する人づくり

森のチカラ

水とどりの潤いのある森づくり
地域にやさしい森づくり
情熱都市・とやまの一体感を感じる森づくり

3つのチカラを引き出して

- 安全で安心して生活できる社会
- 高い道徳心と創造性に満ちた活力ある社会
- 美しい森や水を守り育む社会

を実現します。

情熱都市 とやま